

H.VOLT の原因と調査方法

▶ 説明内容

保護回路が作動した場合、予想される原因とその処理方法

説明	保護回路が作動すると、ブザーが鳴り、電力増幅器システムコントローラ(SA-150/SA-160)の保護回路作動表示ランプが点灯するとともに、7セグメント表示器により保護回路項目が表示され、装置が自動停止します。
対象シリーズ	iシリーズ /Jシリーズ /Kシリーズ(SA-150), Aシリーズ(SA-160)

SA-150



SA-160

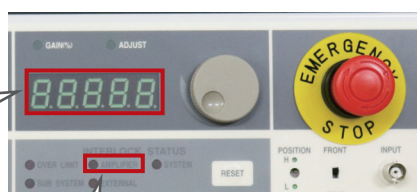


- ① 7セグメント表示器により保護回路項目を表示
- ② 保護回路作動表示ランプ
- ③ リセットスイッチ
- ④ 非常停止ボタン

● エラーの発生原因と対処法

発生時の表示

Huolt



● AMPLIFIER

保護回路のランプ

エラーの内容	DC電源高電圧
発生原因	一次側の設備電源電圧が装置の定格を超えている

システムコントローラの [POWER ON] スイッチを押した状態で、一次側の設備電源電圧が規定値より高いとエラーが発生します。

電力増幅器と繋がっている設備電源の電圧を御社の設備御担当者様にご確認ください。

※ 規定の電圧については、お手元の仕様書をご確認ください。

解決しない場合、振動試験装置が故障している可能性があります。
IMVサポートセンターもしくはHPお問合せフォームからご連絡ください。

IMVサポートセンター

✉ imv-sc@imv-corp.com 🌐 <https://we-are-imv.com/support/info/info-ment/>